

## 令和6年度の代替輸送訓練・ワークショップの結果

令和7年2月7日

北陸地域国際物流戦略チーム事務局

## 【目次】

1. 外貿代替輸送訓練・ワークショップの結果
  - 1.1 アンケート調査の概要
  - 1.2 アンケート結果
  - 1.3 討議結果
  
2. 内航代替輸送訓練・ワークショップの結果
  - 2.1 アンケート調査の概要
  - 2.2 アンケート結果
  - 2.3 討議結果
  
3. 代替輸送訓練・ワークショップのまとめ
  - 3.1 外貿代替輸送訓練・ワークショップに関する考察
  - 3.2 内航代替輸送訓練・ワークショップに関する考察

## 1. 外貨代替輸送訓練・ワークショップの結果

# 1.1 アンケート調査の概要（外貿）

## (1) アンケート項目（外貿代替輸送訓練・ワークショップ）

- 対象者：外貿代替輸送訓練・ワークショップ参加者（19名）
- 回答者：19名

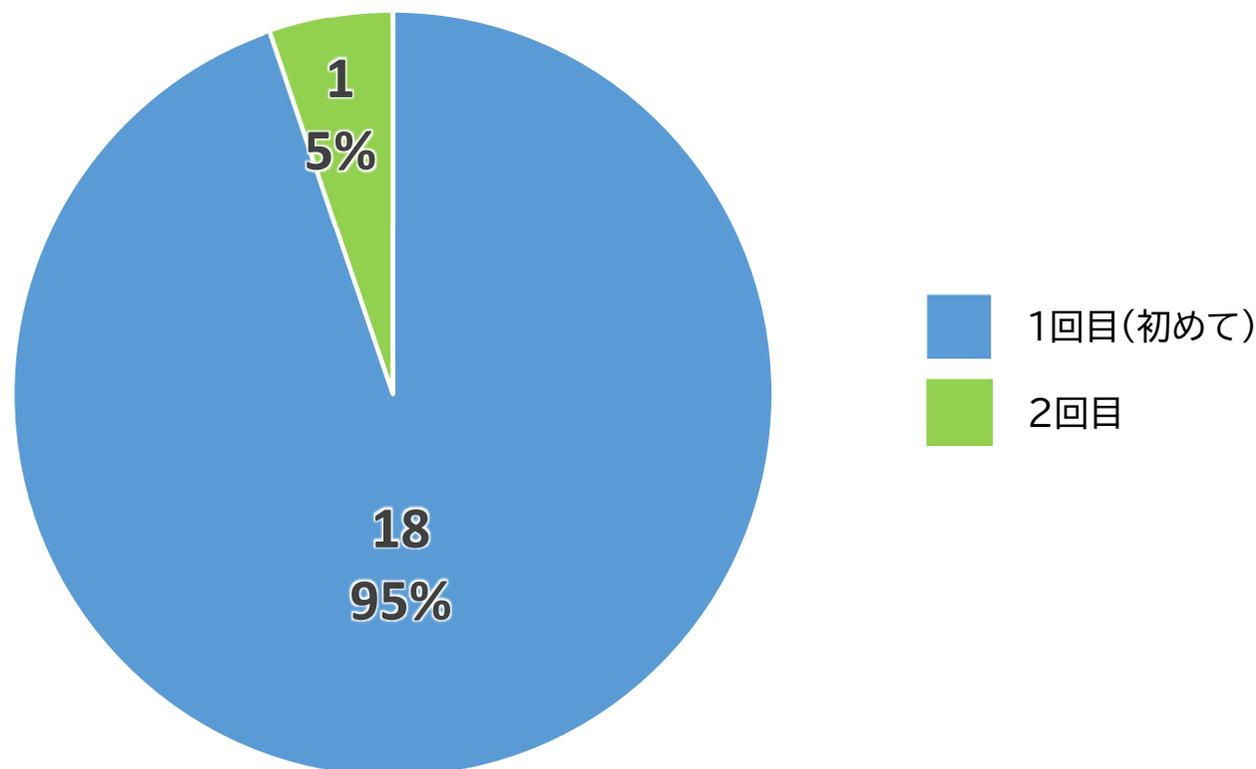
No.	アンケート設問
<b>◆全体の感想</b>	
(1)	外貿コンテナ代替輸送訓練は平成25年から、内航フェリー・RORO船を活用した代替輸送訓練は令和5年から実施しています。過去に代替輸送訓練に参加したことがありますか。
(2)	今回の代替輸送訓練についてどのように思われましたか。
(3)	今回のワークショップについてどのように思われましたか。
<b>◆BCPに関して</b>	
(4)	貴社の事業継続計画（BCP）の策定状況は現在どのような状況ですか。
(5)	貴社の事業継続計画（BCP）に記載されている代替輸送の内容について教えてください。
(6)	今回の代替輸送訓練・ワークショップの内容は、貴社の事業継続計画（BCP）に活用できそうですか。
<b>◆代替輸送に関して</b>	
(7)	災害発生時に備えて、北陸の港湾を利用することを想定していますか。
(8)	被災時に事業継続のため代替輸送を行うことを想定した際に、本手引書に期待する要素があればお教えてください。
<b>◆今後に関して</b>	
(9)	今回の訓練・ワークショップを受けて、訓練の運営方法および次年度以降の訓練テーマ等についてご提案や改善点、その他ご感想がありましたらご記載ください。

## 1.2 アンケート結果（外貿）

### ◆全体の感想

(1) 外貿コンテナ代替輸送訓練は平成25年から、内航フェリー・RORO船を活用した代替輸送訓練は令和5年から実施しています。過去に代替輸送訓練に参加したことがありますか。

- 今回はこの訓練に2回目の参加者は1名だった。
- 従来は、複数回目の参加者が一定程度の割合で確認できたが、今回は、新規の参加者が大宗を占めた。
- Web方式から対面方式に変わったことも一因と考えられる。

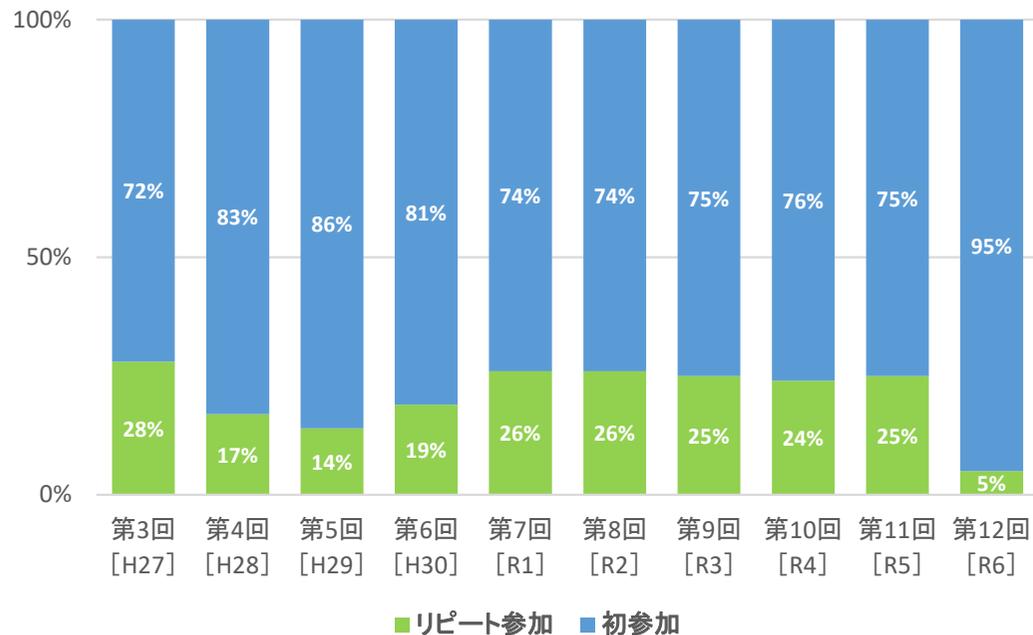


# 1.2 アンケート結果（外資）

## ※参加リピート率の推移

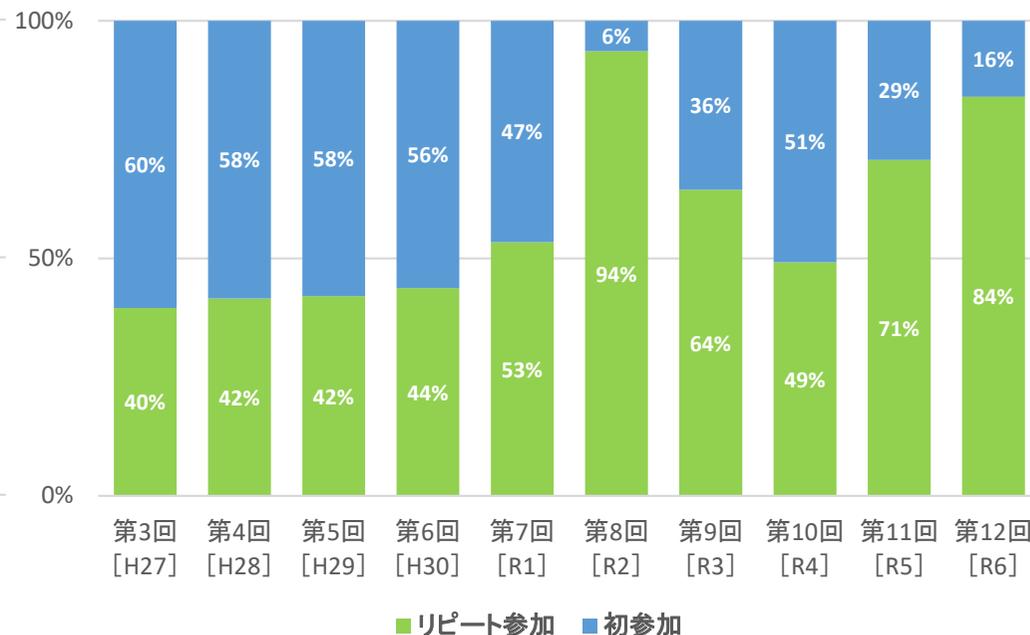
- Web方式から対面方式に変わったこともあり、今年度の訓練リピート参加率は5%だった。
- 一方、企業・団体別の訓練へのリピート参加率は、今年度は84%だった。令和元年以降半数以上の企業・団体がリピートしている。
- 企業において訓練へ参加することの有用性が広まっていると考えられる。

①参加者の訓練への参加リピート率



②企業・団体別の訓練への参加リピート率

※訓練参加者の所属企業・団体が過去の訓練に参加がある場合にリピート参加とした。  
(企業数で算出、企業の名称変更等は考慮せず)



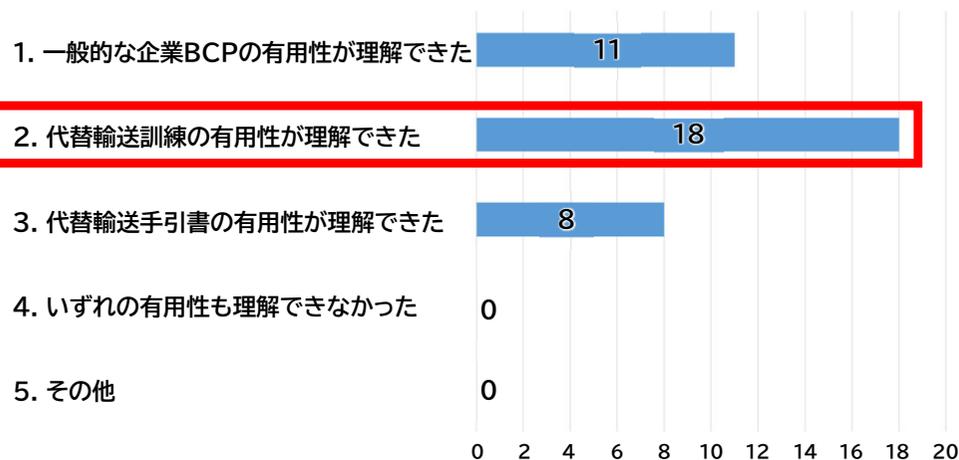
## 1.2 アンケート結果（外資）

### ◆全体の感想

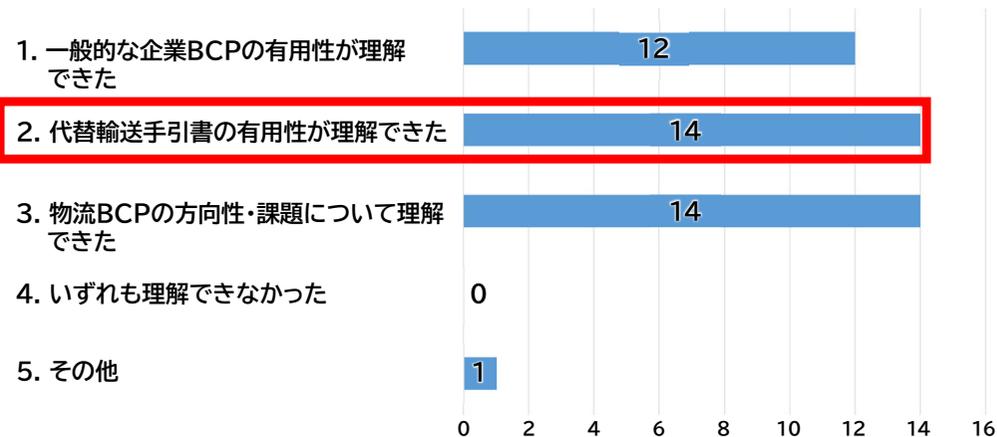
(2) 代替輸送訓練、(3) ワークショップについてどのように思われましたか。(複数回答)

- 多くの参加者から代替輸送訓練や代替輸送手引書等の有用性が理解できたという回答が得られた。

訓練を通じた理解



ワークショップを通じた理解

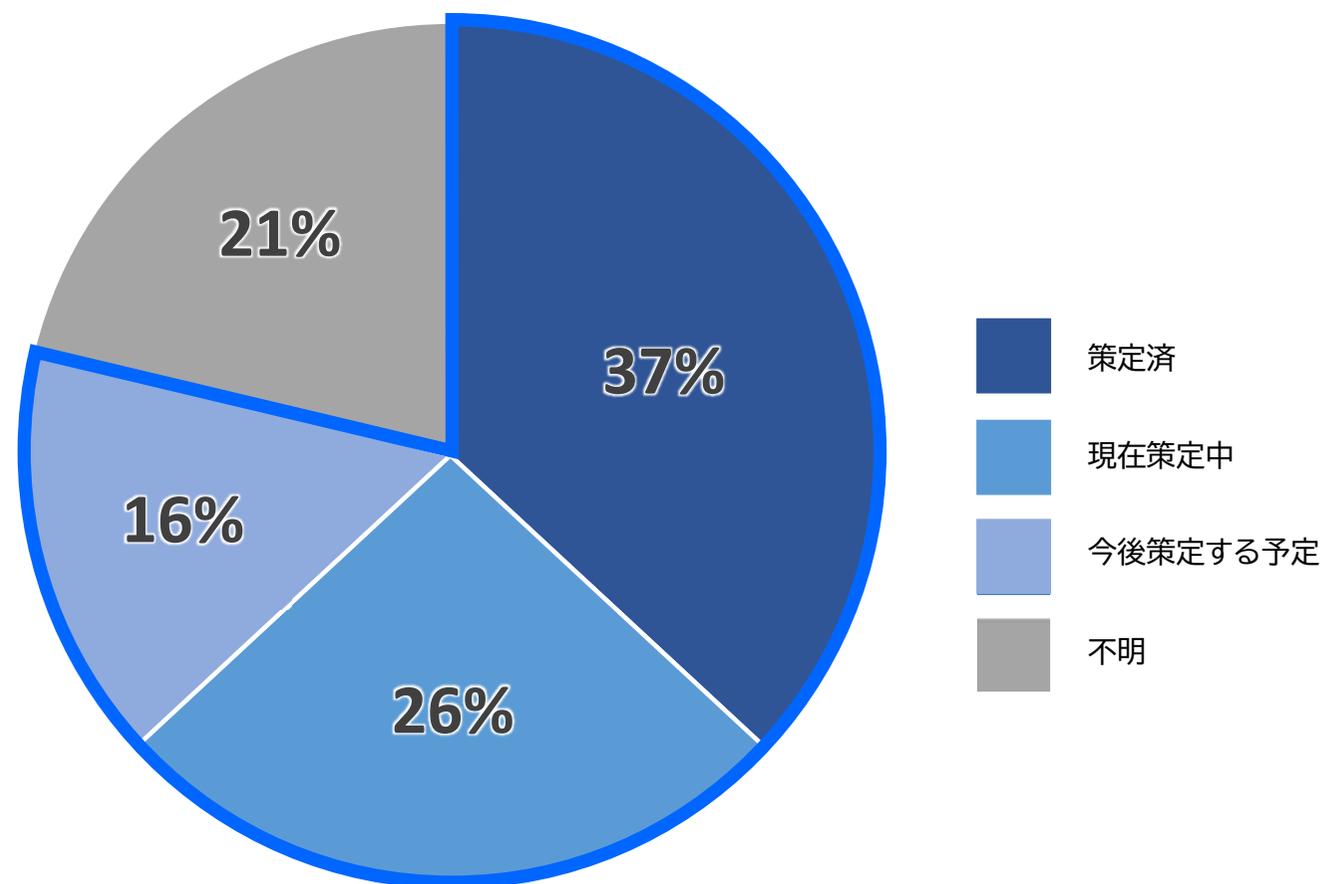


## 1.2 アンケート結果（外資）

### ◆BCPに関して

(4) 貴社の事業継続計画（BCP）の策定状況は現在どのような状況ですか。

- 参加者の所属先のBCP策定状況は「今後策定する予定」まで含めると79%と、半数以上となる。

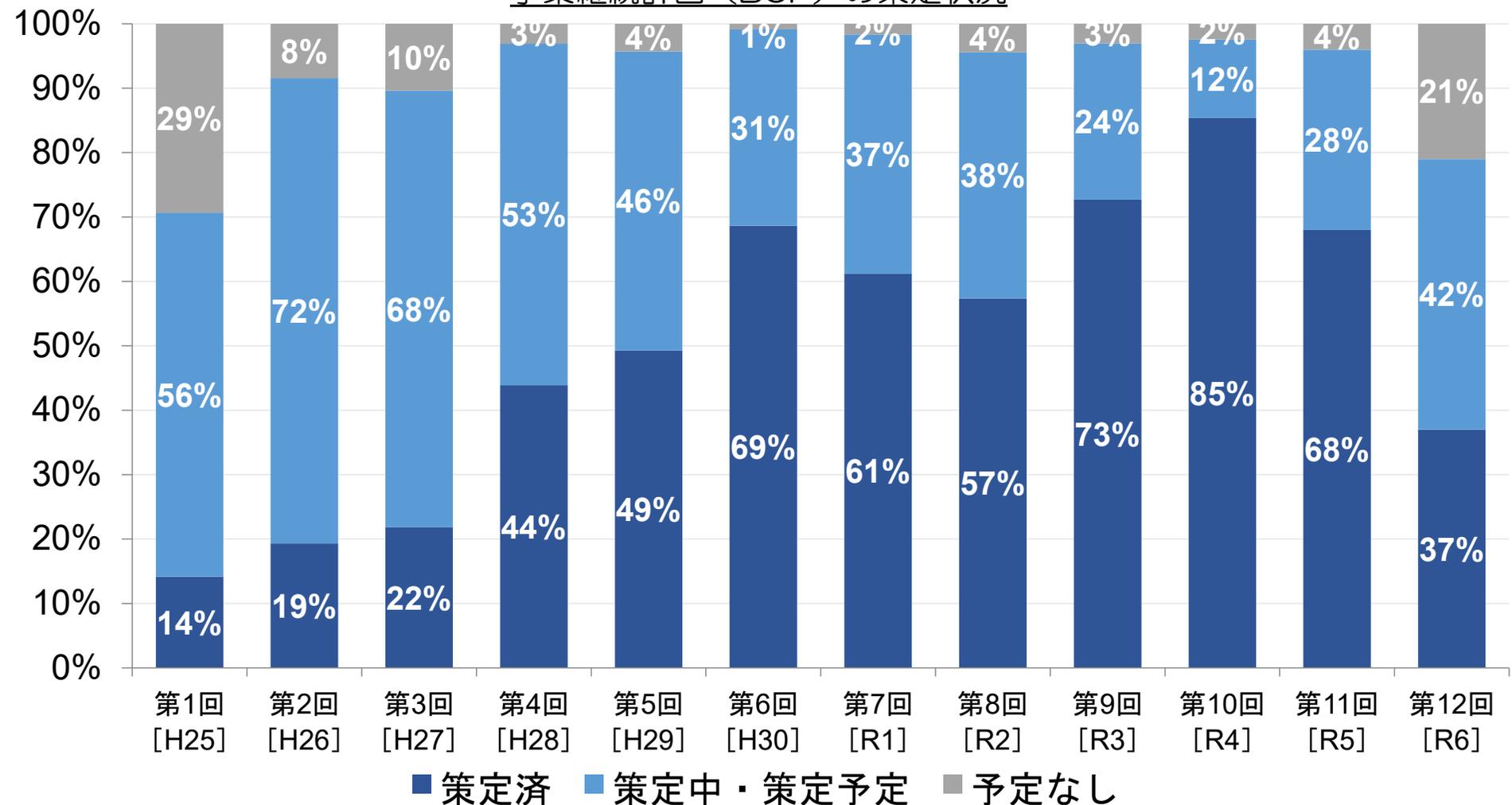


## 1.2 アンケート結果（外資）

### ※事業継続計画（BCP）の策定状況の推移

- 事業継続計画（BCP）を策定済みの参加者は、今年度は37%であった。
- 今年度、策定済みの参加者が少なかった要因として、新規参加者が多かったため、BCPの策定状況について把握できていなかった可能性が考えられる。

事業継続計画（BCP）の策定状況

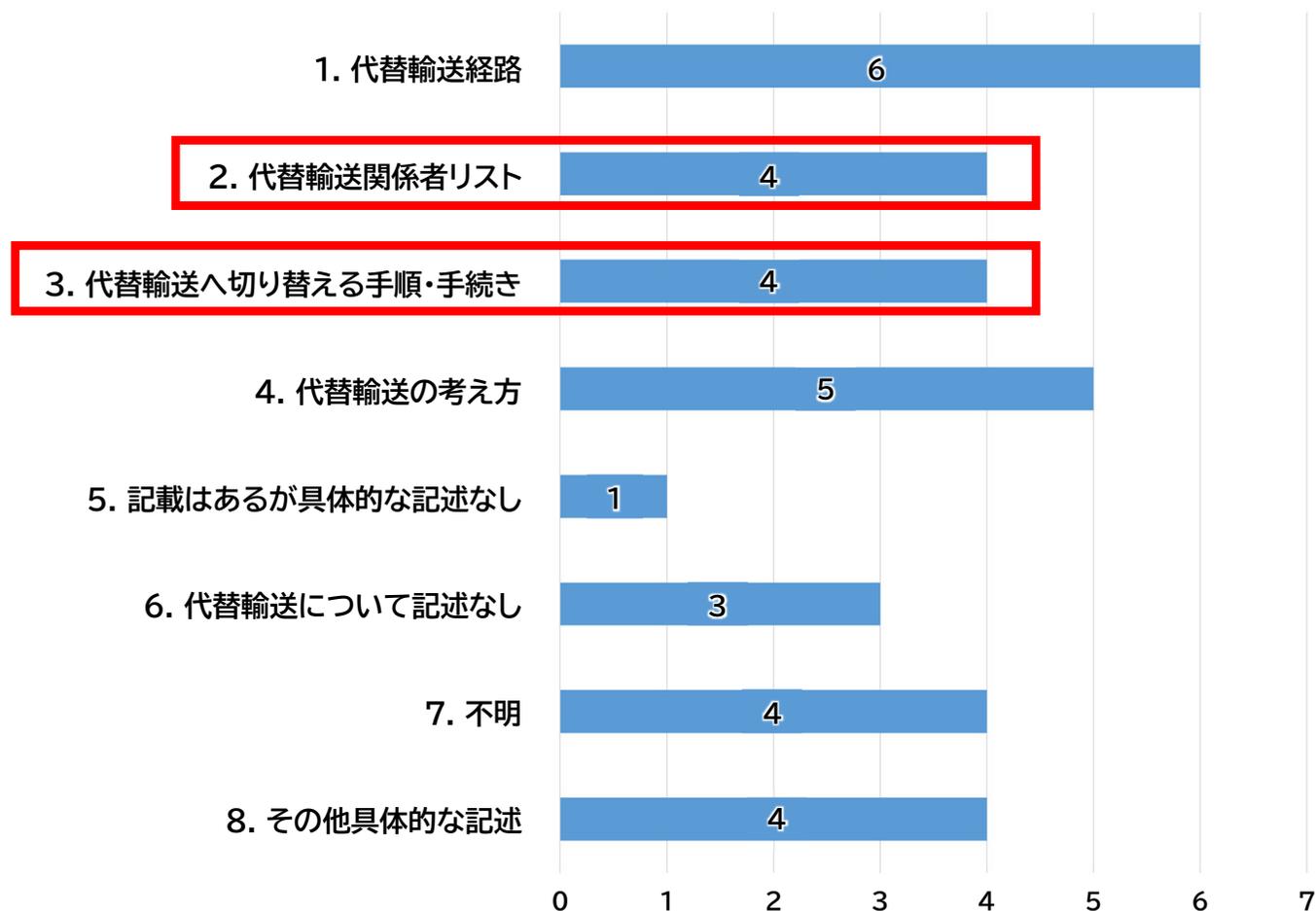


## 1.2 アンケート結果（外資）

### ◆BCPに関して

(5) 貴社BCPに記載されている代替輸送の内容について教えてください。(複数回答)

- 代替輸送に関してBCPに記載がある一方で、「関係者リスト」や「手順・手続き」等については、記載内容が若干手薄になっている傾向が伺える。

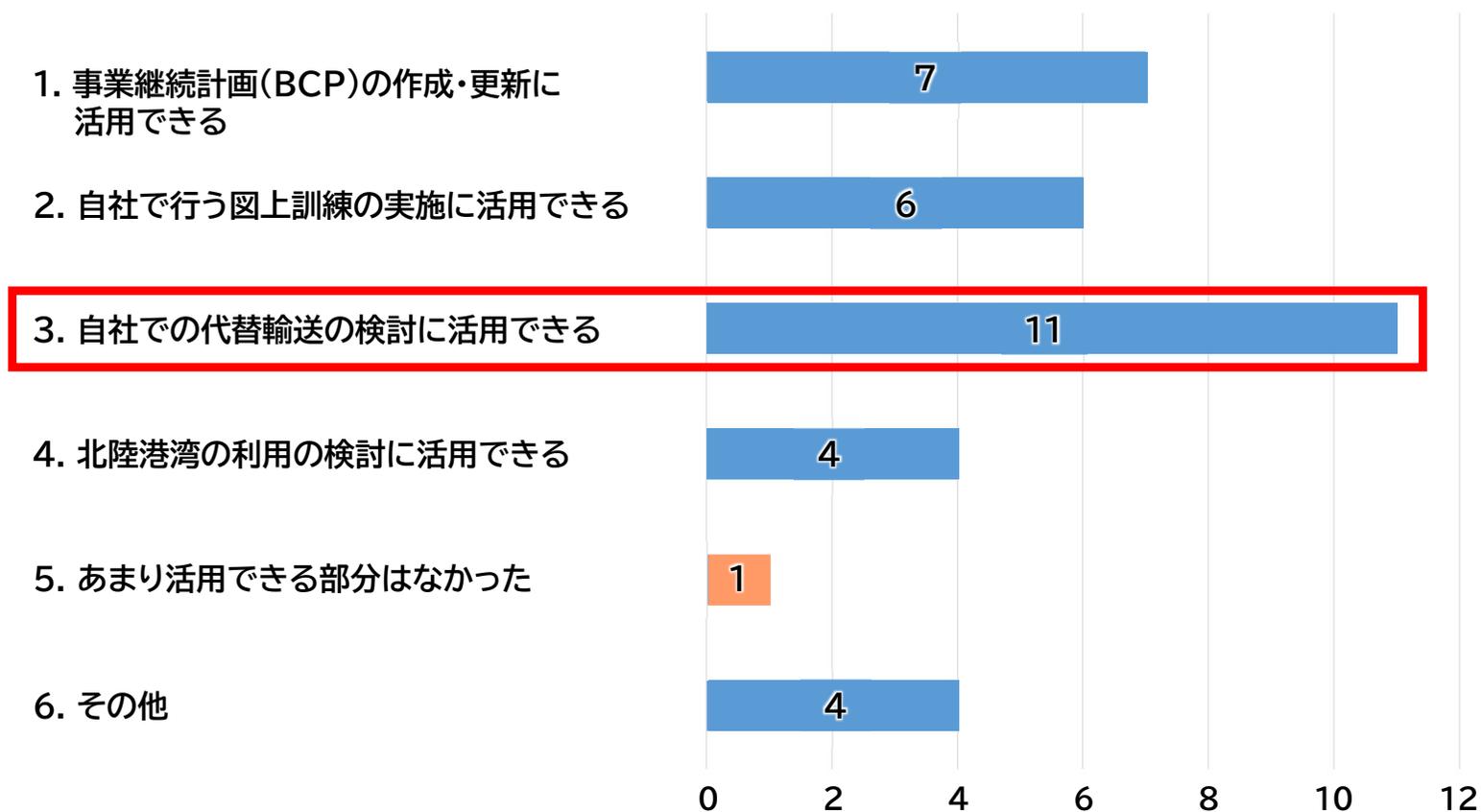


## 1.2 アンケート結果（外資）

### ◆BCPに関して

(6) 今回の代替輸送訓練・ワークショップの内容は、貴社の事業継続計画（BCP）に活用できそうですか。（複数回答）

●多くの参加者から、訓練・ワークショップの内容について、「自社での代替輸送の検討に活用できる」という回答が得られた。

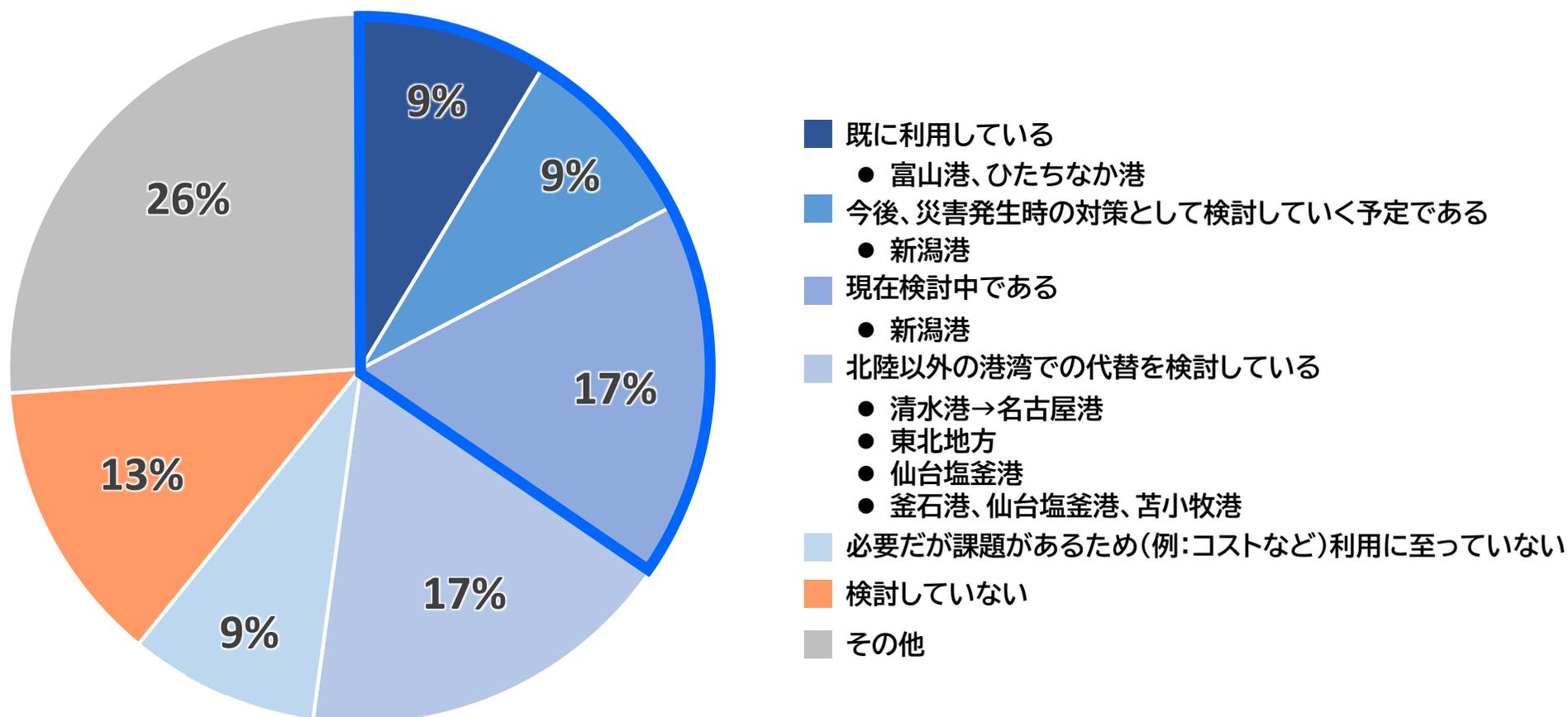


## 1.2 アンケート結果（外貿）

### ◆代替輸送に関して

(7) 災害発生時に備えて、北陸の港湾を利用することを想定していますか。

- 35%の企業が北陸港湾を既に利用または検討している状況である。
- 一方、13%の企業は検討していない状況である。

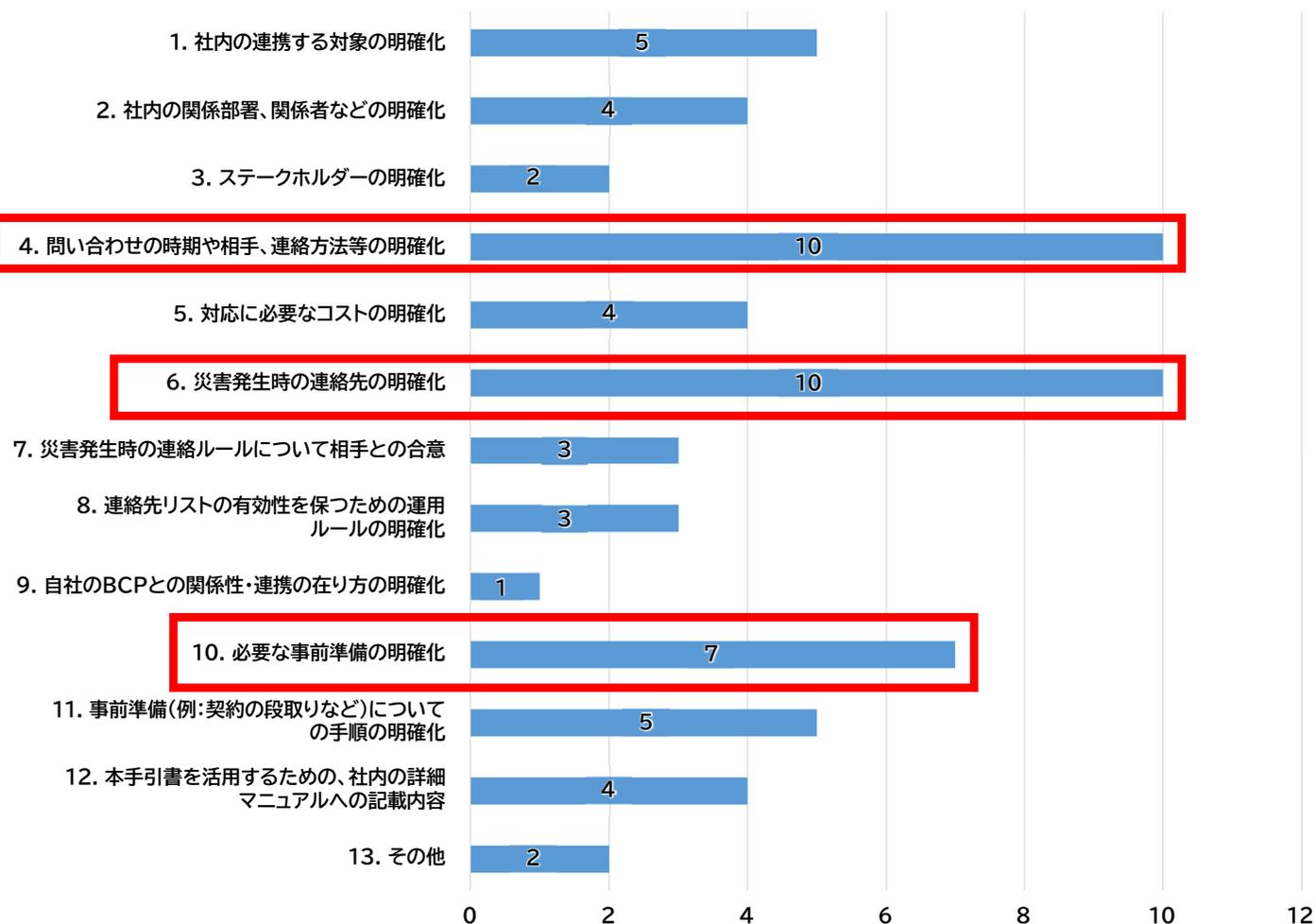


## 1.2 アンケート結果（外資）

### ◆代替輸送に関して

(8) 被災時に事業継続のため代替輸送を行うことを想定した際に、本手引書に期待する要素があれば教えてください。（複数回答）

- 災害発生時の連絡先や連絡方法の明確化、必要な事前準備の明確化等に関する回答が多かった。



## 1.2 アンケート結果（外資）

### ◆今後に関して

(9) 今回の訓練・ワークショップを受けて、訓練の運営方法および次年度以降の訓練テーマ等についてご提案や改善点、その他ご感想がありましたらご記載ください。

- 訓練・ワークショップの実施方針の変更に関する意見はなかったが、今後、参加者、参加企業の拡大を図る必要があるといった回答も得られた。

### 提案・改善点・感想

#### ●改善点

- 1 物流業界からの参加者が多かったように見受けられるため、荷主企業側の参加者がもっと必要と考えます。
- 2 ロールプレイングで具体的にルートを決定していくのか、手順を確認し合うのかがわからず、はじめに説明をいただきましたかったです。

#### ●感想

- 3 フェイクニュースに惑わされないようにするなど、情報の正しい取り方からスタートしてもよいと思いました。
- 4 実践的な訓練で非常に有意義でした。
- 5 弊社ではどういった代替案がベストか？手引書を参考にして独自で改善していきたいです。
- 6 いろいろな業種の方のご意見を聞くことができ有意義な訓練となりました。
- 7 一企業でやれることには限界がありますので、どこまでBCPとして取り組んでいくべきなのかは大きな課題として感じています。
- 8 事前/平常時から代替輸送について準備しておくことで、有事の際に迅速な初動対応ができるとわかりました。

# 1.3 討議結果（外貿）

## (1) ワークショップ① 代替輸送手引書について

- 手引書の改善に対する意見として、「事前にやっておくべき事項のリストの追加」といった回答があった。

No.	改善点
●追加してほしい内容	
1	他の地域の港湾を代替として利用する記述の記載。
2	<u>災害が発生する前にやっておくべき事項のリストという形で手引書に記載。</u>
3	各社のBCP策定に際して事前にそれを誘導するような記載が必要。
4	大雨や台風など地震以外の事象発生時の代替輸送手段ごとのメリット・デメリットの記載が必要。
5	災害以外の港湾のストライキなどの場合のチェックリストの追加。
6	様々な立場・レベルの利用者を想定した手引書作成。
7	ケース別の参考例の記載が必要。
8	文字だけでなく、フローチャートでの記載が必要。
9	鉄道輸送手段の記載が必要。
●記載内容の修正	
10	用語の書き方や名称の確認。
●運用方法について	
11	インターネットが繋がらない状況を想定し、リンクで示されている情報を紙で見られるような対応。

# 1.3 討議結果（外資）

## (2) ワークショップ② 物流BCPの方向性について

### 1. 企業BCPにおける物流/サプライチェーンの継続について感じている課題とその解決策

- サプライチェーンの継続については、コスト、事前準備、物流2024年問題等に関する課題に対応すべきというコメントがあった。

No.	課題と解決策	
●コストに関する課題		
1	【課題】	BCP対応時に料金が多くかかる場合、対応が継続すると会社の経営に負担がかかる。
	【解決策】	国や自治体が支援する方策を策定する。
2	【課題】	自社だけでは完結しない。平時からコストをかけることはできない。
	【解決策】	企業グループ、地域、同業などでBCPを作成する。物流センター等で共同配送する。
●事前準備に関する課題		
3	【課題】	サプライチェーンの継続について、事前の準備が不足している。
	【解決策】	非常時になる前に代替手段を検討、代替港を平常時から使って経験値を積み、代替手段をとった場合の流れや必要な手続きを把握しておく。
●物流2024年問題に関する課題		
4	【課題】	BCPを考えるときにも物流2024年問題を考慮すべき。
	【解決策】	配送の際に他社と混載して積載率を上げていく。共同配送等を平常時から仕組みとして取り入れる。

# 1.3 討議結果（外貿）

## (2) ワークショップ② 物流BCPの方向性について

### 2. 今後、物流に特化したBCPではどのような要素を備えているべきか

- コストや対応手段について、多くの意見が挙げられた。

No.	備えるべき要素
<b>●コスト</b>	
1	非常時において、通常のリードタイムや通常のコストでは運べないことを経営陣に理解してもらう機会を作る。
2	非常時に貨物が運べなかった場合について社内で話し、平常時にBCPにコストをかけようという意識を持つ。
<b>●対応手段</b>	
3	大前提としてBCP対応は考えるが、想定外の事象の発生に備えて、普段から臨機応変に対応できるように考えておく。
4	企業ごとにビジネスモデルが違うので、それぞれの企業で通常時から考える。
5	例えば、車の部品を作っている工場のうち、ある工場が被災して部品が作れなくなったときに、他の部品の工場は稼働できるがいったん停止させて車を生産するルートを止めるということを、普段から考えておき、いざというときに実行できるようにしておく。
6	「通れた道マップ」などを使って道路状況について情報収集する。
7	洪水、地震などさまざまな災害に対応できるようなBCPを策定する。
8	復旧のための手順書を策定し、平時に戻すまでの手順を定める。
9	複数のルートを持ち、「プランB」を持ちつつ、だめならプランC、Dが選べる準備をする。

## 2. 内航代替輸送訓練・ワークショップの結果

## 2.1 アンケート調査の概要（内航）

### (1) アンケート項目（内航代替輸送訓練・ワークショップ）

- 対象者：内航代替輸送訓練・ワークショップ参加者（16名）
- 回答者：15名

No.	アンケート設問
<b>◆全体の感想</b>	
(1)	今回の代替輸送訓練についてどのように思われましたか。
(2)	今回のワークショップについてどのように思われましたか。
<b>◆BCPに関して</b>	
(3)	貴社の事業継続計画（BCP）の策定状況は現在どのような状況ですか。
(4)	貴社の物流に焦点を当てたBCPの策定について現在の状況を教えてください。
(5)	物流機能の継続についてどのような課題を感じていますか。
(6)	今回のワークショップの内容は、貴社の事業継続計画（BCP）や物流BCPに活用できそうですか。
<b>◆代替輸送に関して</b>	
(7)	貴社の事業継続計画（BCP）に記載されている代替輸送の内容について教えてください。
(8)	災害発生時に備えて、物流手段に影響が発生した場合の対応策について想定をしていますか。または、これから計画を作っていく予定はありますか。
<b>◆今後に関して</b>	
(9)	災害発生時に備えて、北陸の港湾を利用することを想定していますか。
(10)	今回の訓練・ワークショップを受けて、訓練の運営方法および次年度以降の訓練テーマ等についてご提案や改善点、その他ご感想がありましたらご記載ください。

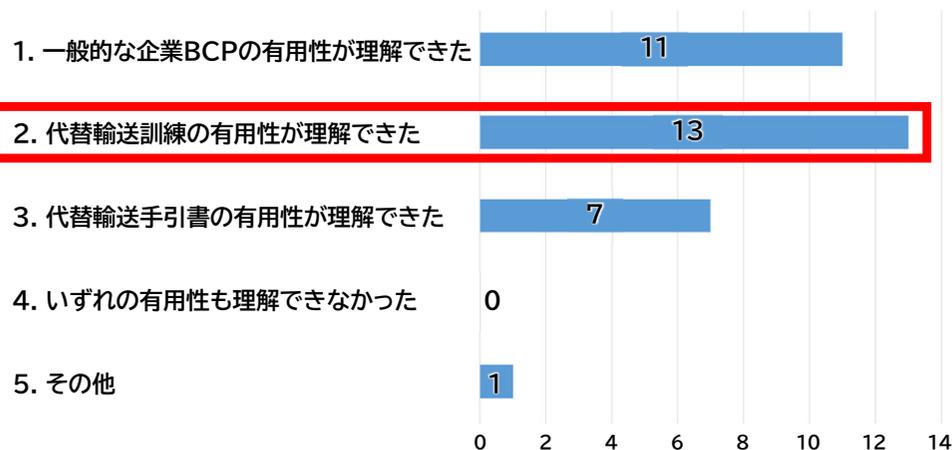
## 2.2 アンケート結果（内航）

### ◆全体の感想

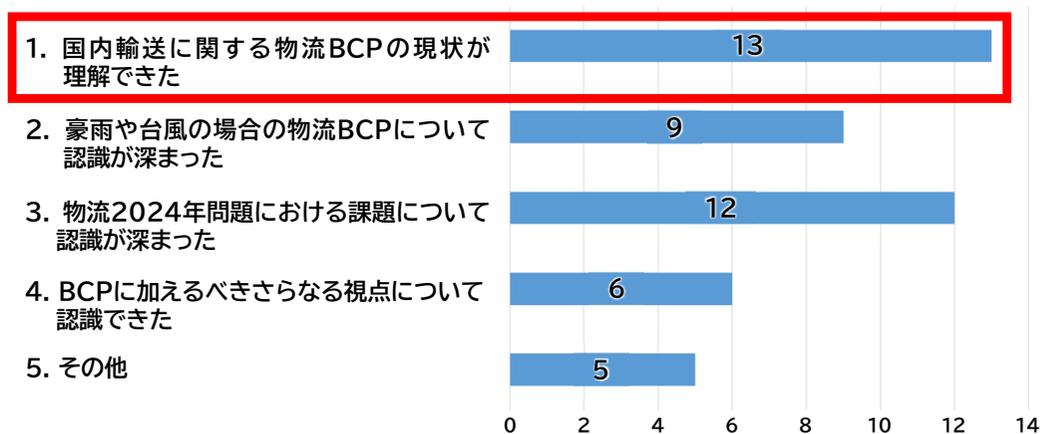
(1) 代替輸送訓練、(2) ワークショップについてどのように思われましたか。（複数回答）

- 多くの参加者から「代替輸送訓練の有用性」や「国内輸送に関する物流BCPの現状が理解できた」という回答が得られた。

訓練を通じた理解



ワークショップを通じた理解



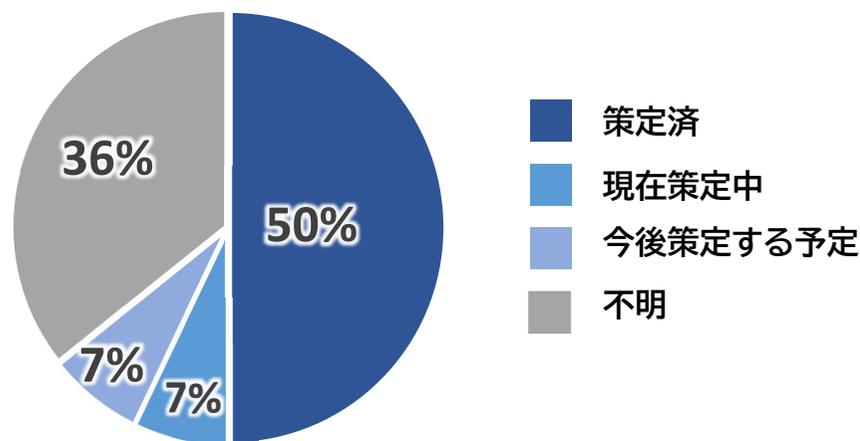
## 2.2 アンケート結果（内航）

### ◆BCPに関して

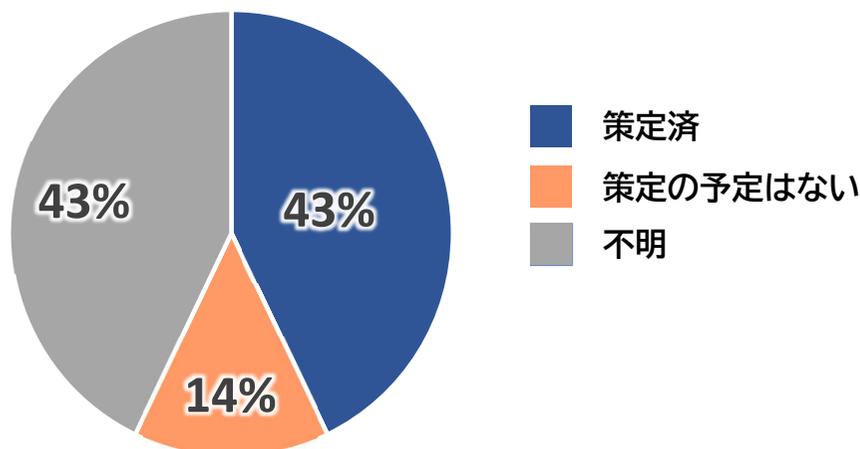
(3) 貴社の事業継続計画（BCP）、(4)物流に焦点を当てたBCPの策定について現在の状況を教えてください。

- BCPを策定している企業は、物流に焦点を当てたBCPも策定している傾向があることが分かった。

#### ■事業継続計画（BCP）の策定状況



#### ■物流に焦点を当てた事業継続計画（BCP）の策定状況

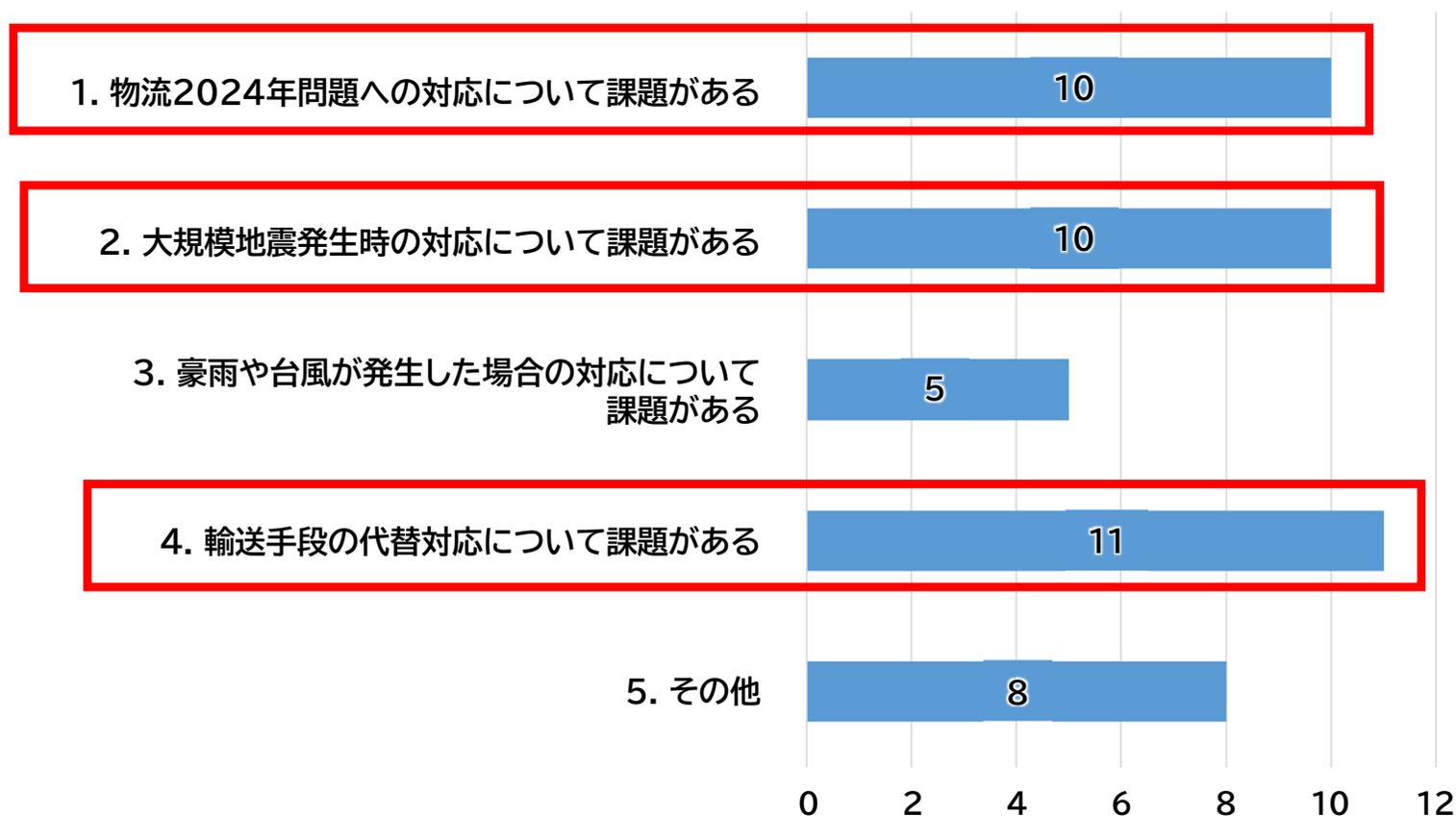


## 2.2 アンケート結果（内航）

### ◆BCPに関して

(5) 物流機能の継続についてどのような課題を感じていますか。（複数回答）

- 災害時の代替輸送に関する課題や物流2024年問題等に関する対応について、課題があるという回答が得られた。

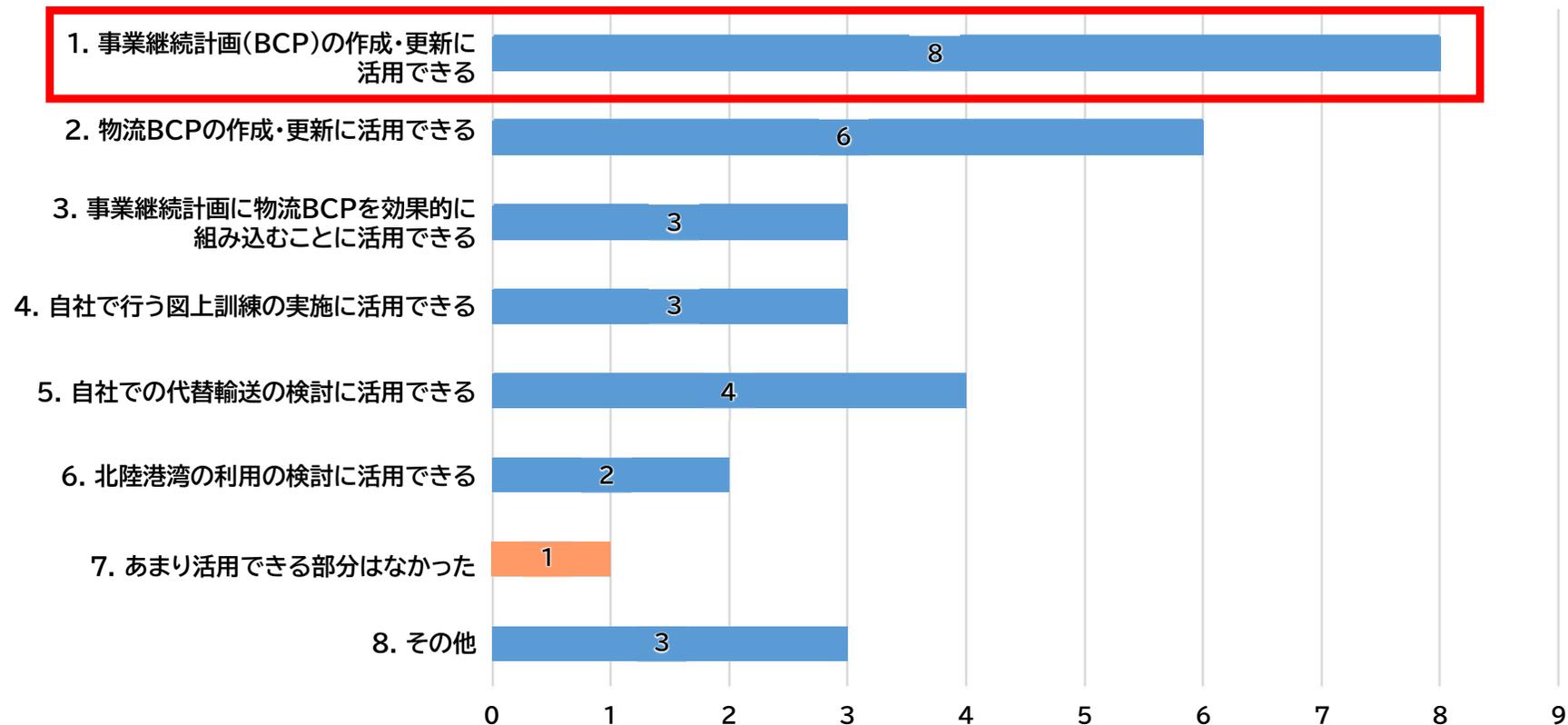


## 2.2 アンケート結果（内航）

### ◆代替輸送に関して

(6) 今回のワークショップの内容は、貴社の事業継続計画（BCP）に活用できそうですか。  
（複数回答）

●多くの参加者から、訓練・ワークショップの内容について、「自社でのBCP作成・更新に活用できる」という回答が得られた。

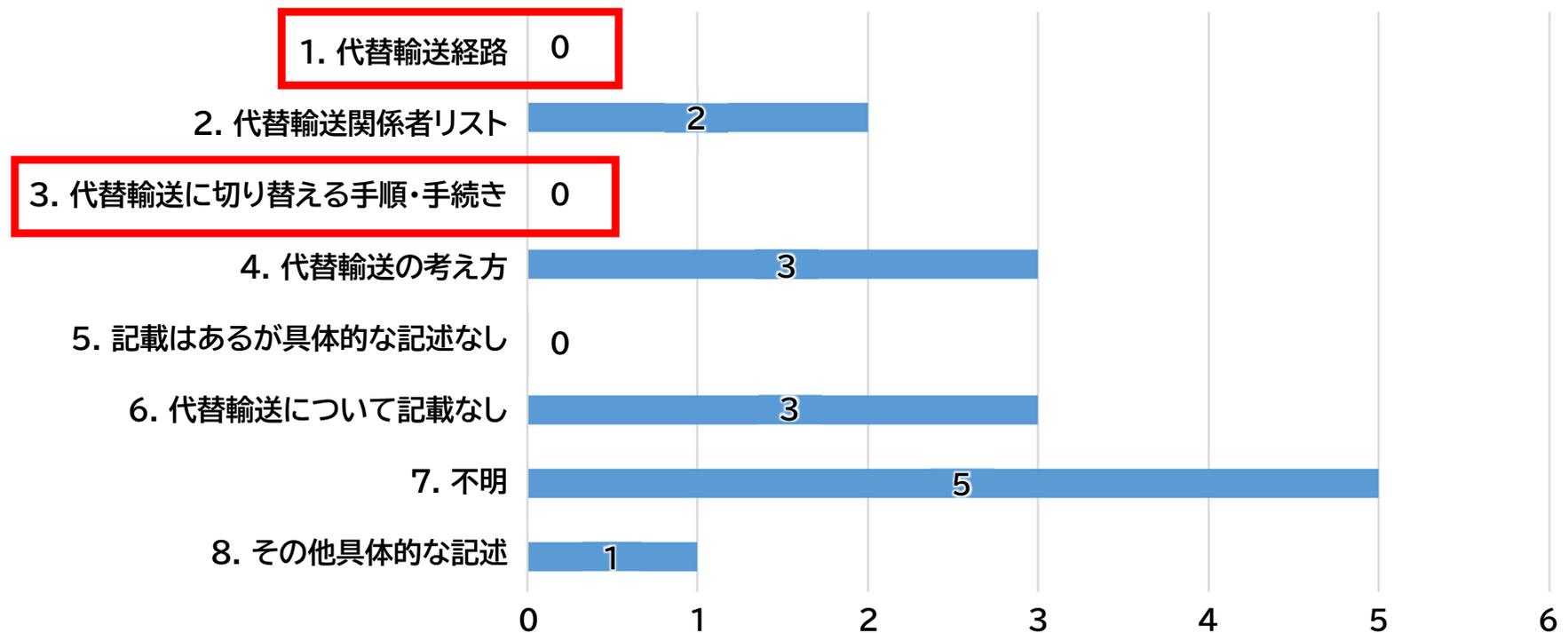


## 2.2 アンケート結果（内航）

### ◆代替輸送に関して

(7) 貴社の事業継続計画(BCP)に記載されている代替輸送の内容について教えてください。  
(複数回答)

- 代替輸送に関してBCPに記載がある一方で、「代替輸送経路」や「手順・手続き」等については、記載内容が若干手薄になっている傾向が伺える。

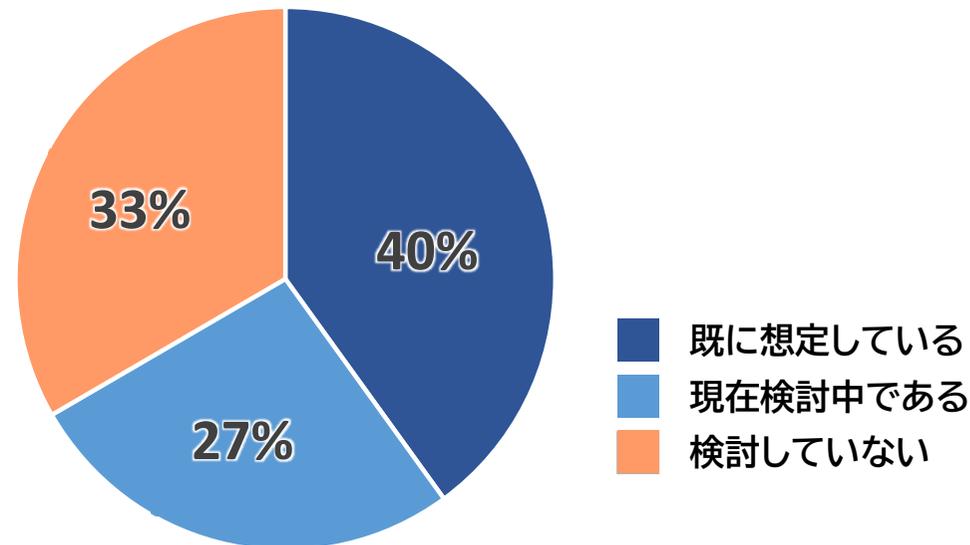


## 2.2 アンケート結果（内航）

### ◆ 今後に関して

(8) 災害発生時に備えて、物流手段に影響が発生した場合の対応策について想定をしていますか。または、これから計画を作っていく予定はありますか。

- 検討中を含め67%の企業が対応策を想定していることが分かった。



#### ■ 既に想定している:

- 既に状況に応じて陸送、鉄道、海運、航空などにより輸送を行っている
- 荷物の前倒し輸送、受け入れ体制の事前確認等

#### ■ 現在検討中である

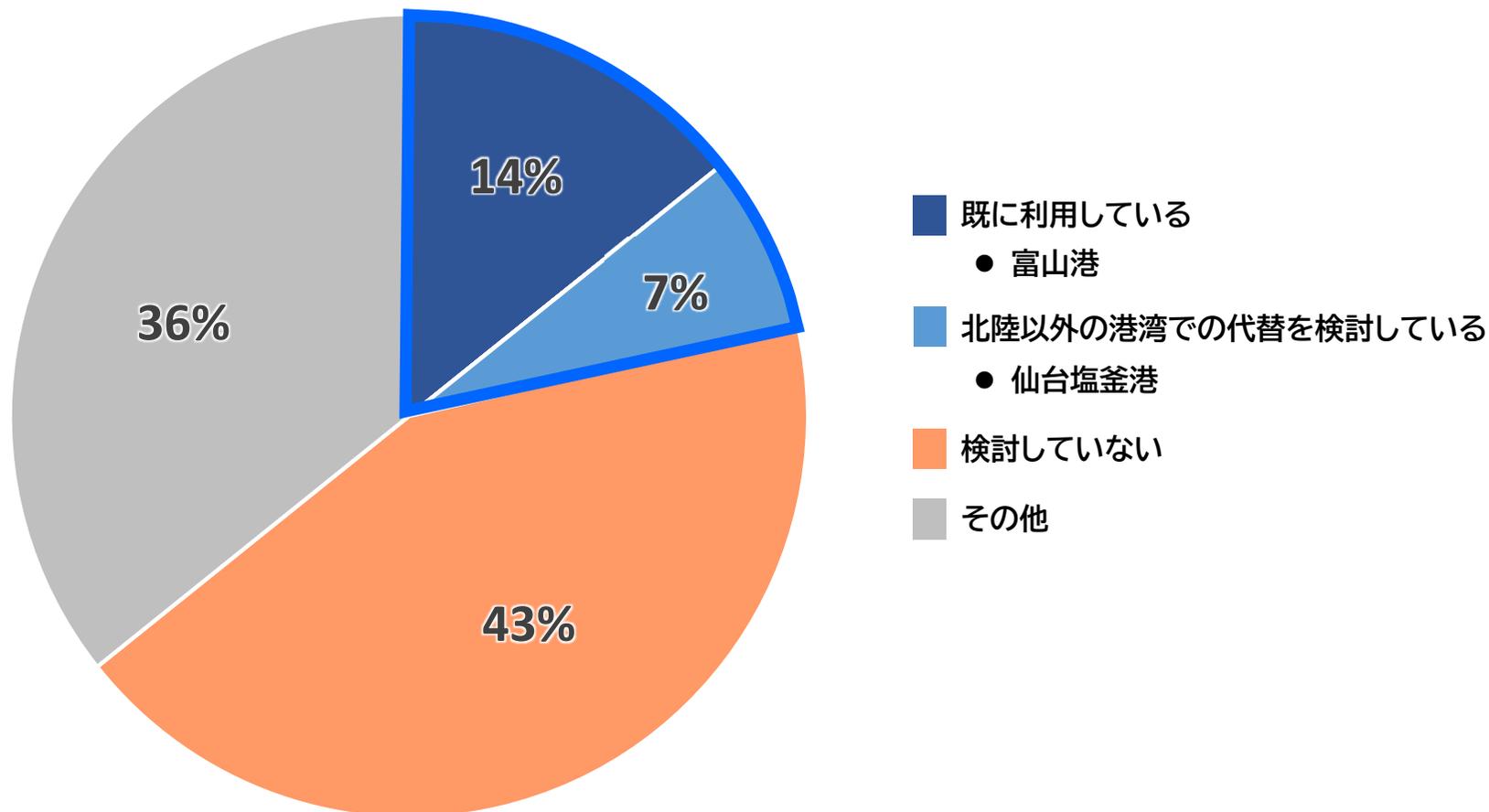
- 協力会社の幅を広げておく

## 2.2 アンケート結果（内航）

### ◆今後に関して

(9) 災害発生時に備えて、北陸の港湾を利用することを想定していますか。

- 既に北陸港湾を利用している企業は14%である。
- 災害発生時の物流手段として、港湾を想定している企業は21%であり、それ以外の企業は港湾を利用する必要性を見出せていない又は、代替輸送を検討していないことが伺える。（外貿と比較し低い傾向）



## 2.2 アンケート結果（内航）

### ◆今後に関して

(10) 今回の訓練・ワークショップを受けて、訓練の運営方法および次年度以降の訓練テーマ等についてご提案や改善点、その他ご感想がありましたらご記載ください。

- 運営方法については好評な回答が得られたが、今後、参加者、参加企業の拡大を図る必要があるといった回答も得られた。

No.	提案・改善点・感想
●提案	
1	次回は実例として被災地の企業で行われた話や映像紹介などがあるとより良いものになると期待しています。
2	ロールプレイングのケースをいくつか増やしたり時間を長くとっていただいても良いかと感じました。
3	物流会社以外でも物流BCPに触れたのが初めての方が多い様子であったので、参加企業の範囲を広くすべきと思った。
4	議論には物流会社が各テーブルにいると良いと思います。
●感想	
5	普段業務に関わりのないBCPについて楽しみながら学ぶことができました。
6	物流や海運について全くの素人でしたので、大変勉強になりました。

## 2.3 討議結果（内航）

### (1) 第一部 ワークショップ

#### ■意見交換 各社の国内輸送に関する物流BCPの現状認識

- 全社一丸となってBCPに取り組む体制・連携が取れていないという回答があり、物流BCPの認識はあるものの、実行上の課題があることが伺える。

No.	課題と解決策	
● 社内の運用に関する課題		
1	【課題】	他部署や他拠点の物流会社との連携が取れない。
	【解決策】	他部署との調整、業者への説明が必要。
2	【課題】	BCPの取組みや計画を作るにあたり、部署ごとに温度差があり、積極性も違う。
	【解決策】	経営陣を含めて社内の意識の徹底が必要。
3	【課題】	BCPが社内に共有されていない。複線化などの検討がされていない。
	【解決策】	経営層も含めてBCPを社内に広く共有していくことが大事。
● BCP運用上の課題		
4	【課題】	優先貨物の決め方が分からない。
	【解決策】	ガイドラインの作成が必要。
5	【課題】	実際の被害を想定した代替ルートを想定した訓練ができていない。
	【解決策】	代替ルートを想定することを日頃からあらかじめ検討しておく。
6	【課題】	災害発生時のトラックや船舶の燃料補給、通信手段の確保や情報の入手。
	【解決策】	事前にホームページなどで必要な情報を取得しておく。
● 2024年問題に関する課題		
7	【課題】	2024年問題に関連してトラックドライバーの不足。
	【解決策】	物流に携わっている人々の社会的な地位の向上が必要。共同配送など、より効率的な物流の実現。

## 2.3 討議結果（内航）

### (2) 第三部 振り返り ワークショップ

#### ■ 物流BCPの方向性についての討議

##### 意見交換① 地震災害と豪雨・台風の対策の違い

- 地震災害と異なり、豪雨・台風では事前予測が可能であることから、対策が立てやすいと考えている参加者が多いことが伺える。

No.	豪雨・台風の対策
1	荷主側で事前にわかっているので、早めに到着してもらえよう調整する。
2	従業員に対しても施設に対しても事前の台風対策を行い、その一環としてマニュアルを準備して緊急時対応を行うほか、必要なものについては事前に優先順位をつけておくなどの準備を行う。
3	気象情報を重視して、通勤時の注意喚起、水害を受けた地域についてはかさ上げ、防潮堤の整備を行う。

## 2.3 討議結果（内航）

### (2) 第三部 振り返り ワークショップ

#### ■ 物流BCPの方向性についての討議

#### 意見交換② 物流2024年問題を踏まえたBCPのあり方について

- 物流2024年問題については、「共同配送」や「物流資材の規格化」、「DX化による効率化」等、各社それぞれに検討を進めていることが分かった。

No.	BCPのあり方
1	システムを使って待ち時間を短縮することも可能。
2	コストアップについても社会情勢から受け入れてもらいやすい。
3	<u>共同配送、集荷・配達におけるドライバーの負担軽減と時間の短縮、物流資材の規格化が必要。</u>
4	アウトソーシング、自動運転などの新しい技術の検討、地域ごとの輸送会社を連携したリレー方式の輸送、納期にゆとりを持たせる、業界団体としての連携、日頃から災害を想定した連携というものが大切。
5	メーカーにおいてはトラックから鉄道へのシフトが有効。
6	運送会社においては、女性ドライバー確保のためトイレ等の設備の充実、 <u>DX化による効率化</u> 、東北までの陸送を仙台港にする、 <u>バラカートンからパレット積みにする等が有効。</u>
7	長距離輸送においてドライバーの途中交代が進んでいることはBCPIにとってはリスクが分散でき、むしろ良かった。何も考えずにトラックを大型化することはBCPIにとってはマイナス。
8	トラックの大型化でなく、ドライバーの無人化が有効。
9	緊急物資の輸送はドローンを活用。

## 2.3 討議結果（内航）

### (2) 第三部 振り返り ワークショップ

#### ■ 物流BCPの方向性についての討議

#### 意見交換③ 企業BCPに加えるべきさらなる視点

- 物流BCPの重要性を踏まえた上で、「代替ルートの使用」や「連絡網の作成」等、様々な視点からの意見が得られた。

No.	企業BCPに加えるべきさらなる視点
1	計画はあるが実行されていない企業もある。代替ルートを策定し、 <u>月に1回程度、その代替ルートを使用してみ</u> <u>てブラッシュアップを行う</u> ことも必要。
2	日頃から物流のパートナー企業も含めて <u>連絡網のようなものを作成</u> し、属人的でない形でバックアップ体制をつくる、物流を止めないという目的でBCPを作成する。
3	自社の物流計画の非常時計画を加えておくべき。
4	現状の課題として、フォワーダーの非常時体制については開示が難しいので、Q&Aの形で開示できないかを検討する。
5	物流BCPを企業BCPから独立させるべきかという点においては、生産ラインの復旧と物流は違うので、独立といえば独立。ただ、物流におけるメーカー側のパレタイズや、受け入れ場所の検討など、企業側としても考えるべきことがあり、そのような点については企業側のBCPで検討すべき事項と考える。

### 3. 代替輸送訓練・ワークショップのまとめ

## 3.1 外貿代替輸送訓練・ワークショップに関する考察

### (1) 外貿代替輸送訓練・ワークショップのアンケート結果と討議結果に基づく考察

#### ① アンケートを通して抽出された課題

- 参加者の所属先のBCPについて、代替輸送に関して記載があっても、「関係者リスト」や「手順・手続き」等についての記載内容が若干手薄（P9）
- BCPへの記載内容の漏れを防ぐために、BCP作成時に参考となる資料の作成（P12）
- 本訓練の有用性を踏まえた継続的な取組（P5、6、10、13）

#### ② 討議を通して抽出された物流における課題

- BCP対応時に必要なコスト（P15、16）
- 事前準備、物流2024年問題に関する課題（P15）

## 3.2 内航代替輸送訓練・ワークショップに関する考察

### (1) 内航代替輸送訓練・ワークショップのアンケート結果と討議結果に基づく考察

#### ① アンケートを通して抽出された課題

- 参加者の所属先のBCPについて、代替輸送に関して記載があっても、「代替輸送経路」や「手順・手続き」等については、記載内容が若干手薄(P23)
- 本訓練の有用性を踏まえた継続的な取組(P19、22、26)

#### ② 討議を通して抽出された物流における課題

- BCPが社内で共有されていないなどといった社内運用に関する課題(P27)
- 実際の被害を想定した代替ルートを想定した訓練ができていないといったBCP運用上の課題(P27)
- 物流2024年問題に関する課題(P27)